

市町村議会議員特別セミナー

10月31日、11月1日の2日間の日程で、令和6年度第2回「市町村議会議員特別セミナー」を開催し、全国各地から111人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「多様な人材の地方議会への参画促進」と題して、慶應義塾大学法学部政治学科教授の谷口尚子氏から、低投票率や地方議員のなり手不足問題を踏まえ、多様な人材の政治参画を促進するための取り組みや主権者教育の重要性等についてご講演いただきました。参加者からは、「主権者教育の効果についてデータをもとに分かりやすく解説していただき、地元でも主権者教育を実施したいと思った」、「地方議会への参画促進にあたり、まず何をすべきかがよくわかった」、「地方議会の努力が必要であり、一步一步地道に取り組み、多様な人材が参画できるようにしたい」などの感想をいただきました。

続いて、「縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論」と題して、株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役の西村浩氏から、人口減少により空き地が増加する中で、地域活性化に向けた実践的な取り組み事例の紹介も交えた新しいまちづくりについてご講演いただきました。参加者からは、「素晴らしい発想力と行動力に感銘を受けた」、「これからのまちづくりには、地元の魅力を高める活動が重要だと考え方が変わった」、「まちづくりは当事者6人いればできると聞き、すぐにでも実践したいと感じた」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「ヒト・モノ・カネを繋げるローカルハブ構想～十勝バスの挑戦～」と題して、十勝バス株式会社代表取締役社長の野村文吾氏から、「地域の足」である路線バスが、赤字路線の黒字化や住民ニーズに応じたサービス提供、拠点集約による地域活性化を実現する取り組み等についてご講演いただきました。参加者からは、「実績に裏打ちされた発言には説得力があった。「選択と集中」という課題は、どの町でも抱える難問である」、「公共交通とコンパクトシティによる集約型の街づくりを進めることで地域活性化を目指している姿勢に共感した」、「しっかりとした“アナログ”がなければ“デジタル”は機能しないという言葉に感銘を受けた」などの感想をいただきました。

最後に、「ジェンダーギャップの解消～誰もが住みやすい地域へ～」と題して、ジャーナリストの浜田敬子氏から、「ジェンダー後進国」とも言われる日本の現状や弊害、先進国の取り組み、若い女性が地方から流出する要因、多様性の本質等についてご講演いただきました。参加者からは、「“人口減少の根本にはジェンダー不平等がある”という言葉を大事にしたい」、「ジェンダーギャップの解消について、基礎自治体でどの程度できるか疑問だったが、できることは十分にあると分かった」、「ジェンダーギャップに対する自身の認識が甘かったことを反省した。地元に戻ったら早速周囲を見渡し、改善に取り組みたい」などの感想をいただきました。

多様な人材の 地方議会への 参画促進

慶應義塾大学法学部政治学科教授
谷口 尚子氏



縮退の時代に 生き残るための新しい まちづくり実践論

株式会社ワークヴィジョンズ
代表取締役
西村 浩氏



ヒト・モノ・カネを繋げる ローカルハブ構想 ～十勝バスの挑戦～

十勝バス株式会社代表取締役社長
野村 文吾氏



ジェンダーギャップ の解消 ～誰もが住みやすい地域へ～

ジャーナリスト
浜田 敬子氏

